

最高齢出場は100歳 マスターズ陸上って？



18歳以上ならOK 年齢に応じて目標

「国際・第38回全日本マスターズ陸上競技選手権大会」が10月下旬、和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場で開かれた。18歳以上の健康な登録者なら誰でも参加できる大会に史上最多の2263人がエントリーし、関西勢の奮闘も光った。年齢を重ねても意欲が衰えないアスリートたちは、陸上にかける思いを聞いた。

6年ぶりに和歌山で開催された全日本マスターズの舞台。「地元なので気合が入った」と話す女子棒高跳びの関めり子さん(80)は、日本におけるこの種目の先駆的な存在だ。

中学、高校ではソフトボールを経験。39歳でホノルルマラソンを完走したことをきっかけに、マスターズ陸上の関係者から声をかけられた。「陸上は素人なので、何の種目にも挑戦しようと思った」。44歳の時に棒高跳びに国内の女性で初めて挑戦した。最初は2.5m程度だった記録も2.75mまで伸ばした。「始めてからの7年間はずっと私の記録が(年齢に関係なく)日本記録だった。せつ々かなので1年ずつ刻み直したと振り返る。

現在は週1回、車で片道約2時間かけて兵庫県の練習場に通う。ここ数年は手の負傷などで記録が伸び悩むが、「陸上は生活の一部だし、若さの秘訣でもある。できる限りは続けたい」と意欲的だ。

各選手の奮闘を見ながら「みんなが充実した表情で元気に帰っていく、それが

「100歳まで現役ランナー」と力強い。来年の第39回大会の舞台は鳥取市に決まっている。1年後の晴れ舞台を目指して、シニアアスリートの挑戦は続く。(岩佐友)



女子棒高跳びの関めり子さん



今大会最高齢の100歳で砲丸投げに出場した青辺源太郎さん

立ち五段跳びのM80(80~84歳)に出場し、日本記録で優勝した鴻池清司さん

いずれも和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場

6年前の94歳時、
中村整形外科勉強会でご講演いただいた。
NHK特集でも過去に数回特集される。
(京大法学部卒、元 住友金属副社長)。

和歌山工場長時代に、
このお二人で、
日本マスターズ陸上を
創設された(40年前)。

2015年に、
中村整形外科に患者として
数回受診された。